



ばら組だより



新年明けましておめでとうございます。例年より少し長めの年末年始のお休みを経て、元気に登園してくれた子どもたち。久しぶりの再会を喜び、誘い合って一緒に遊んだり、休み中の出来事をお話してくれたり笑顔があふれています。

早いもので、ばら組での生活も残り3ヶ月を切りました。次は自分たちが最年長の「ひまわり組さん」としてみんなを引っ張って行く立場になるという事も少しずつわかっているようです。未来へのささやかな不安を感じながらも、運動会や発表会といった大きな行事を無事に終えたことで、自分に自信が持てるようになった子も増えたと感じます。胸をはってひまわり組へ進級できるよう、お家の方と一緒に子どもたちの成長を温かく見守っていきたいと思います。引き続き今年もよろしくお願ひいたします！

発表会を終えて…

12月6日の発表会では、お家の方を前にして緊張しながらも笑顔で「北風と太陽」を演じることができました。たくさんの温かい拍手、ねぎらいの言葉など本当にありがとうございました！発表会に向けての活動を通して成長した子どもたちのエピソードをご紹介します♪

「じゃあ、ぼく北風やるよ！」

はじめのうちは役を固定せず、今日は誰が何の役をやるか、みんなで話し合って決めていました。時には北風が誰もいない!?なんてことも…それでは劇が成り立たないとわかると、自分がやりたい役ではなかったとしても、今回は自分がやるよ、と引き受けてくれる子も出てくるようになりました！



「全然聞こえない…」

自分たちの予行練習の映像を見て、せっかくの台詞が全く聞こえないことに愕然とした子どもたち。「お客様がうるさかったからだよ！」なんて声も聞こえましたが、「名前と歌はちゃんと聞こえる」。もっと大きな声を出さなきゃ伝わらない！すると自然と大きな声が出るようになりました！



「マラカスはどう？」「いいね！」

北風と太陽がそれぞれ曲に合わせて踊る場面では、どうしたら冷たい北風と温かい太陽の日差しを表現できるか、みんなで考えました。

真剣に考えた末に出たマラカスを作る意見にみんな大賛成！自分の考えを伝える、友だちの考えを聞く、「話し合い」がいつの間にか出来ていました。

「太陽さんばっかり勝ってる！」

そういうストーリーだから、と言いたくなるところですが、「じゃあ、負けてしまう北風さんの役割ってなんだろう？」とみんなで考えるきっかけに。そして生まれたのが旅人の最後の台詞です。「さっきの強い北風で種が運ばれてきたんだね」「そして温かい太陽の光で花を咲かせたんだね」誰にでもなんにでも存在意義がある、そんなメッセージを込めました。

ひまわり組さんからのバトン



いつもひまわり組さんが行っている、すみれ・つくし組さんのお手伝い。ばら組さんからも「やってみたい！」との声が上がったのをきっかけに、ひまわり組さんに教えてもらいながら、お手伝いをすることになりました。「長い針が2にならたら行くから、急いで給食食べなきゃ！」と時間を気に掛けながら行動する姿に頼もしさを感じます。給食後の着替えを手伝ったり、布団に横になった子に優しくトントンしてあげたり、3月には卒園してしまうひまわり組さんのあとを継ぐべく奮闘しているばら組の子どもたち。しっかりと役目を引き継いで、新年度を迎えると張り切っています！

～今月の目標～

- ・ルールのある遊びを楽しみながら、ルールの大切さに気付く
- ・異年齢との関わりの中で、年下の子への接し方を知る